



株式会社帝国電機製作所



2015年12月8日 (東証1部 コード6333)



会社概要



■ 事業内容	電気機械器具の製造販売等 (キャンドモータポンプ、定量ポンプ等製造販売)
■ 設立	1939年9月
■ 本社	兵庫県たつの市新宮町平野60番地
■ 代表者	代表取締役社長 宮地 國雄
■ 資本金	3,118百万円(2015年9月30日現在)
■ 発行済株式数	20,400,138株 (2015年9月30日現在)
■ 連結売上高	22,083百万円(2015年3月期)
■ 上場市場	東証1部 (証券コード 6333)
■ 時価総額	165.2億円(2015年11月27日現在、株価810円)*単元株 100株



私たちは技術集約型企業です

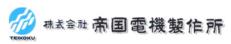
社是

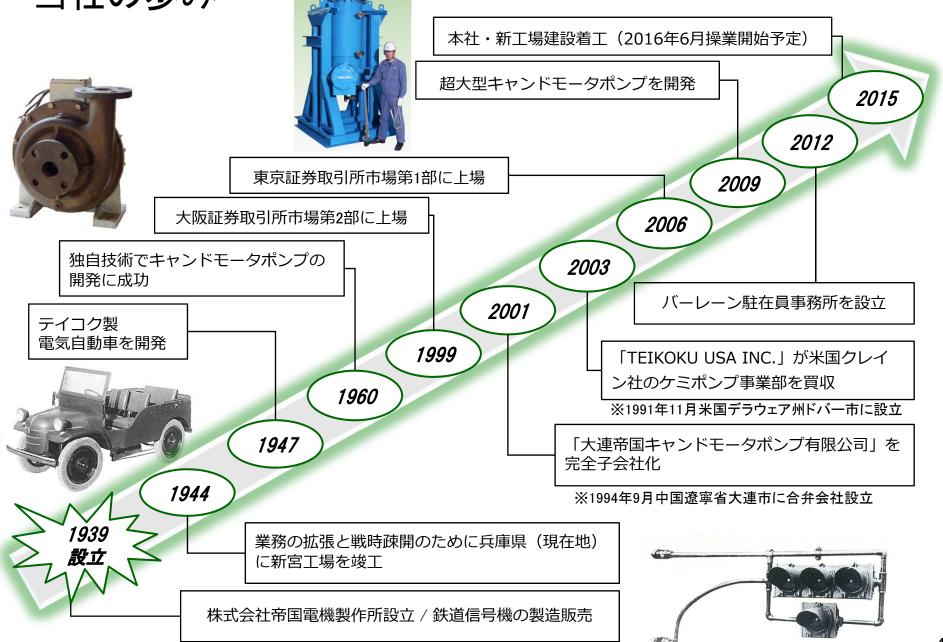
- みんなで良くなろう
- 誠実に事に当たろう
- 積極的にやろう

技術(わざ)がめぐる、心がかよう人間と技術との融合

▶ 信頼と実績を胸に、真のグローバル企業として新たなステージを 目指してまいります。

当社の歩み





当社の事業分野(事業部門別)



■ ポンプ事業

漏れない「キャンドモータポンプ」



ケミカル製品工場

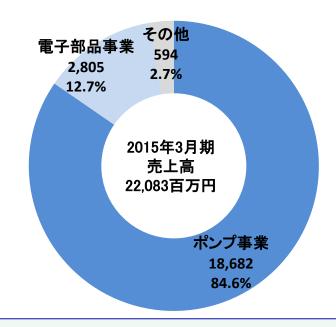
■ 電子部品事業



自動車用電装品

- ・キーレスエントリー
- ・ 電動パワーステアリング

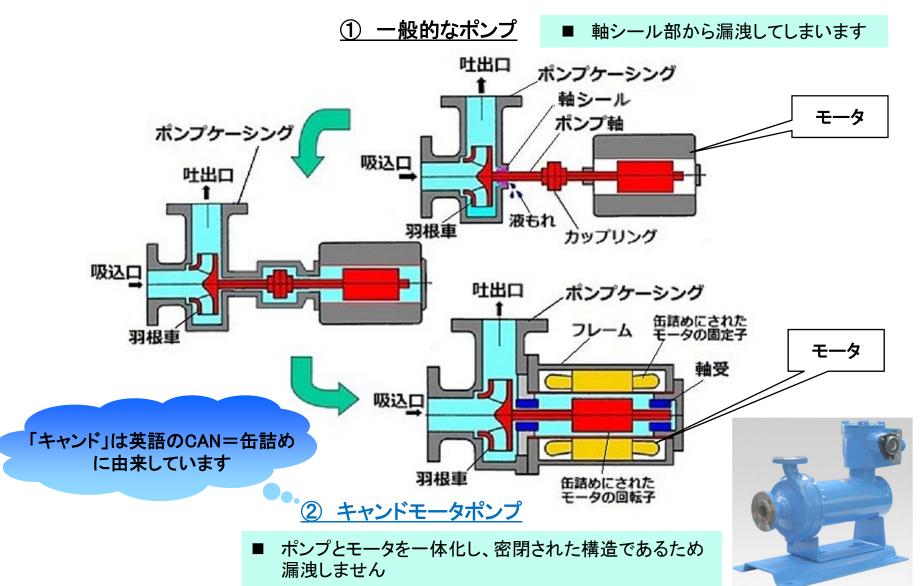
事業部門別売上比率



- ◆「ポンプ事業」の内、約75%前後が「ケミカル用」 ※化学(ケミカル)製品工場の原料・製品の移送用ポンプ
- ◆キャンドモータポンプでの国内シェア約60%、海外 シェア約37%(当社推計:台数ベース)
- ◆「電子部品事業」の主要製品:自動車用電装品

キャンドモータポンプの特徴

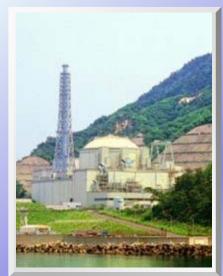




ケミカル用モータポンプ



キャンドモータポンプ





原子力発電所

化学プラント

かくはん機



冷凍機・空調機器モータポンプ

大型冷凍機(吸収式冷凍機)

国内メーカー8社 すべてに納入

(パナソニック/ダイキン/日立等)





ケミカル以外用モータポンプ





半導体業界

ウェハー洗浄用



定量ポンプ、他

薬品業界



電動油ポンプ(キャンドの応用)変圧装置を冷却するための油を循環させるためのポンプ

変電設備









JR新幹線O系 ~E7系に搭載 シェア 100%

電子部品事業/その他



■ 電子部品事業

事業区分	主要製品		
自動車用電装品	ETCコントロールユニット キーレスコントロールユニット 電動パワーステアリング用ユニット	カーライフをはじめとした快適な 生活を支える便利な機能にも帝国	
産業機器用基板	シーケンサ用基板	の技術が活きています。	



キーレスコントロールユニット

■ その他

事業区分	主要製品		
特殊機器	電磁石•昇降機等	電磁石をはじめ、ポンプで培った 技術を応用した様々な製品を製造 しています。	



事業の動向



主要	今期予想	中期予想	
	ケミカル機器用		
ケミカル用	LPG機器用		
	冷凍機•空調機器用		
	半導体機器用		
ケミカル以外用	電力関連機器用		
	定量注入機器		
自動車用電装品			
叶土 万土 土 纵 <u>早早</u>	電磁石		
特殊機器	昇降機		
健康食品			

ポンプ事業

- 内需は、企業設備投資の緩やかな回復に伴い需要が増えつつあり、外需においてもインフラ整備、化学プラントの 増設等に関わる需要増を期待
- グローバルニーズに対応したポンプの開発を進める
- 国内外でのメンテナンス・サービス体制の拡充を図る

中期的な経営戦略と目標



中期的な経営戦略

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開
- 本社工場の建て替え

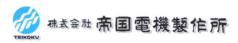
工場面積を現行の1.3倍の約19,800平方メートルに拡大すると共に、生産効率の高いラインを構築し、中・大型ポンプを中心として生産能力を約1.7倍に強化する

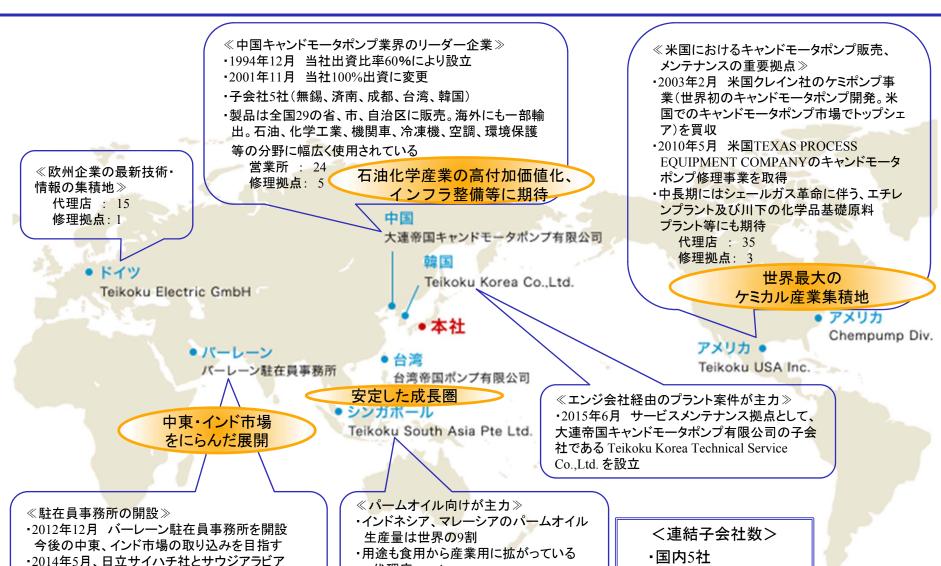
(総投資額約36億円:2016年3月第一期工事竣工、2017年3月第二期工事竣工予定)

経営目標

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靭な経営体質を目指す
 - · 海外売上高比率68%以上 (2015年9月末 58.2%)
 - · 売上高営業利益率12%以上(2015年9月末 9.9%)

主要海外拠点と取り組みのご紹介





代理店: 4

修理拠点:6

におけるメンテナンスサービス契約を締結

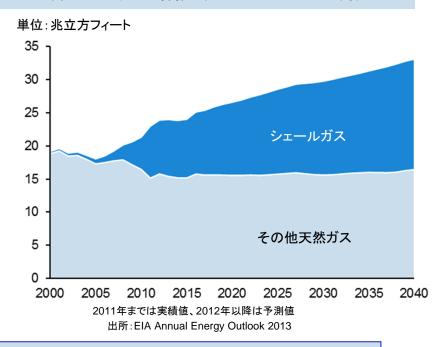
•海外子会社10社

外部環境(米国市場)

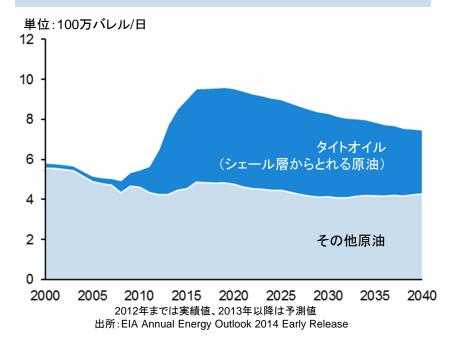


米国における事業環境

米国内の天然ガス採掘に占めるシェールガスの割合



米国内の原油採掘に占めるタイトオイルの割合



ビジネスチャンスの拡大

- 在来型天然ガス生産量の減少下、シェールガスの継続的で大幅 な増産により2035年までに5兆立方フィートの増加を予測
- 太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場の拡大
- 高速鉄道建設などのインフラ整備事業の展開

- 旧来のメカニカルシールポンプ(通常型ポンプ。液漏 れリスクあり)市場へ、キャンドモータポンプを投入
- 新型電動油ポンプ(変電所用)の受注獲得
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でシェア拡大



外部環境(米国市場)



「シェールガス革命」は、北米での当社ビジネスを積極化させると期待

プラント建設に関わるビジネスの進捗(設計~建設~生産稼働)

	Step 1	Step 2	Step 3
プラント・エンジニアリング	北米LNG基地の設計・建 設などの受注		
鋼材・鋼管メーカー	鋼管などの需要		
建機メーカー	建築用機材の需要		
重電メーカー		ガスタービン、コンプ レッサーなどの需要	
産業機械		建築機器、発電機などの需要	
当社			危険な液体に対応する ポンプとして、「API685」
#式会社 帝国電機製作所	営業力の強化	、拠点整備	完全準拠キャンドモータ
			ポンプの商機と認識

※「API685」・・・米国石油協会が定める無漏洩ポンプの規格



中国における事業環境

化学プラント、環境対策

- 足元では景況感の悪化が目立つものの、中長期的には石油化学産業の品質向上、高付加価値化への取り組みが進み、より高機能なポンプの需要機会増加が見込まれる
- 石油精製の脱硫プロセスへのキャンドモータポンプの有効性は、「PM2.5」対策にも期待される
- 中国での「景気対策」として、インフラ投資の積み増しも期待される

鉄道路線網

- 中国国内の鉄道路線網整備の進展
 - ▶ 高速鉄道網の延伸計画 ⇒ 高速鉄道用ポンプ需要増加期待
 - ▶ シルクロード経済圏を構築するという「一帯一路」戦略の基幹を高速鉄道産業がささえる。
- 中国国務院の「国家新型都市化計画(2014-2020年)」※によれば、農村から都市部へ人口を移動させるため、輸送網や都市インフラの整備が進むと見込まれる
- 2020年までに、普通鉄道網が人口20万以上の都市を、高速鉄道網が人口50万以上の都市を、それぞれ 全てカバーする見込み
- インドネシア高速鉄道受注など国外プロジェクトへの参画を加速(中央アジア・ロシア・アルゼンチンなど)

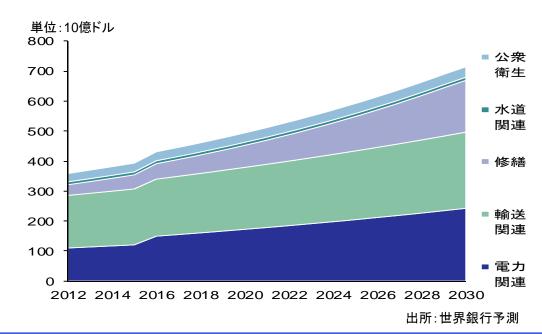
(※)中国国務院、2014年3月16日発表



インフラ投資拡大、化学産業の成長により、新興国でのビジネス機会拡大

新興国における年間インフラ投資額の予測

■ 新興国における急速な都市化と人口急増により、電力・水道・道路・鉄道などのインフラ需要は 拡大傾向

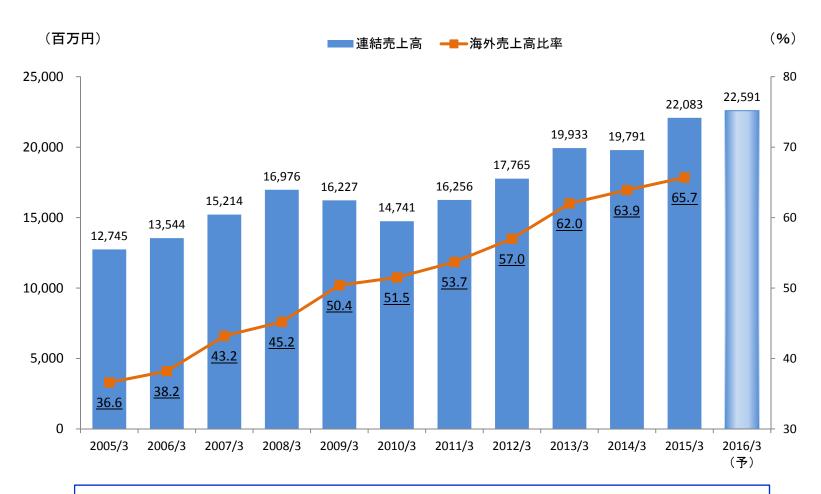


- 当社の海外売上高比率は上昇傾向 (2004年3月期 35.4%→2015年9月末 58.2%)
- 中東・インド市場をにらんでバーレーン駐在員事務所を開設(2012年12月)
- 日立サイハチ社(株式会社日立製作所の子会社)とサウジアラビアにおけるメンテナンスサービス契約を締結 (2014年5月)

業績推移



■ 積極的なグローバル展開により、海外売上高比率68%以上の目標達成を目指す



■ 今後はメンテナンスサービス体制を充実させ、安定的な収益基盤の構築を目指す



業績動向

- ポンプ事業では中国の市況悪化の影響が懸念されるが、北米及び国内は堅調に推移
- 人件費および販売手数料、輸送費等の増加に加え、基幹システム稼働に伴う減価償却 費の増加を見込む

単位 百万円	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (予想)	前期比增減%	2016年3月期 第2四半期(実績)	
売上高	22,083	22,591	2.3	9,962	
売上原価	13,558	13,900	2.5	6,213	
売上総利益	8,524	8,691	2.0	3,749	
販売費·一般管理費	6,071	6,377	5.0	2,766	
営業利益	2,453	2,314	▲ 5.7	982	
経常利益	3,030	2,379	▲ 21.5	1,062	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,993	1,621	▲ 18.6	671	
1株当たり当期(四半期) 純利益(円)	100.06	79.56		32.96	

[2016年3月期計画為替レート: 1US\$=115.0円、1元=19.0円、1EUR=130.0円、1KRW=0.1円]

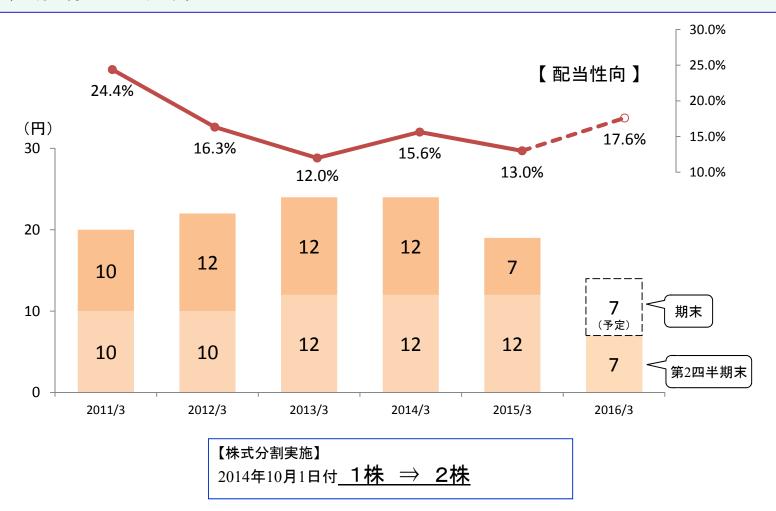
- (注) 1. 当社は、2014年10月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。それに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
 - 2. 上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。 実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。
 - 3. 「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「当期(四半期)純利益」を「親会社株主に帰属する当期(四半期) 純利益」としており、前連結会計年度までの当期(四半期)純利益についても科目名を統一しております。



配当の推移 (株主還元)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと考えており、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としております。

また一方、急速な技術革新と顧客ニーズに応えるための研究・新製品開発及び生産設備等事業拡大・競争力強化のために 積極的な先行投資を行うことも必要不可欠であり、その結果としての財務状況、利益水準及び配当性向等を総合的に勘案し た成果配分に努めてまいります。



株価の推移と株主優待(株主還元)





株主優待制度

株主優待基準日:3月31日

※株式分割前の株価は遡及修正しています

保有株式数基準	優待内容
200株以上1,000株未満	1,000円分の図書カード
1,000株以上2,000株未満	3,000円相当のカタログギフト
2,000株以上	5,000円相当のカタログギフト

【ご案内】

2014年10月1日付の株式分割(1株→2株)に伴い、株主優待制度の保有株式数基準を従来の2倍の株式数に変更いたしました。

(ご参考)

当社製品の事業領域(用途別)

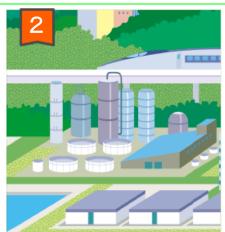




新幹線

変圧器冷却用の油を循環させるために「電動油ポンプ」 が使われています。





工場

石油化学、ファインケミカル、医薬・食品など、多様な分野の工場で、液体の移送、ボイラの熱 媒循環、冷蔵設備の冷媒循環などに「キャンドモータポンプ」や「定量ポンプ」が使われていま す。また、液体の混合・かくはんや反応促進のために「かくはん機」が使われています。









工場·倉庫

工場や倉庫の天井クレーンなどに「**ブレーキモータ**」 が使われています。





オートガススタンド

タクシーなどの燃料として使われるLPGのスタンドにも当社のポンプが活躍しています。



当社製品の事業領域(用途別)





ビル・大型施設

吸収式冷暖房機の冷媒液、吸収液の循環に「**吸収式** 冷暖房機用キャンドモータポンプ」が使われています。





変電所

変圧器冷却用の油を循環させるために**「電動油ポンプ」** が使われています。





発電所

原子力発電所や火力発電所にも「キャンドモータポンプ」が使われています。



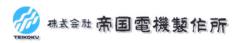


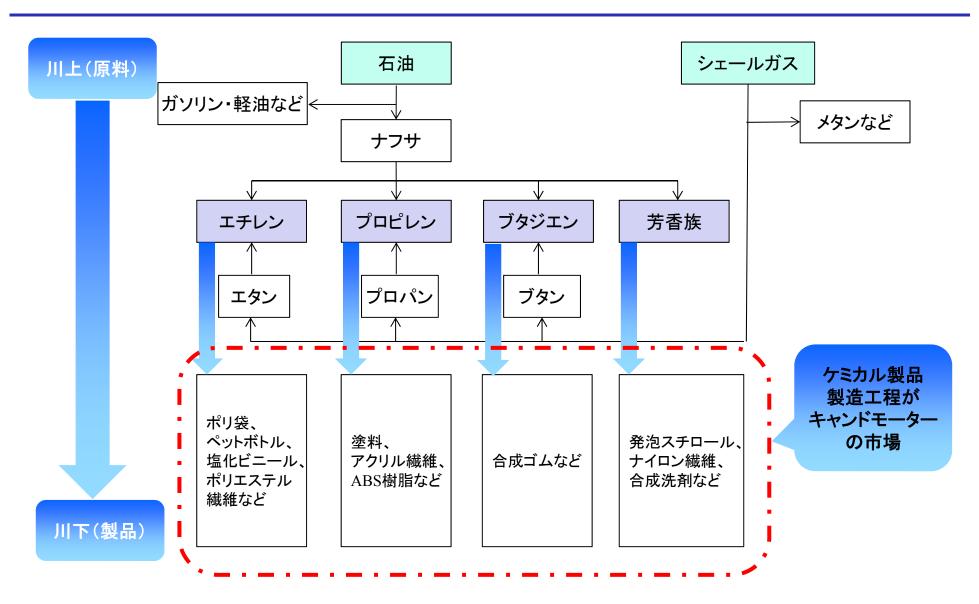
自動車

「ETCコントロールユニット」や「キーレスコントロールユニット」など、快適なカーライフを支える便利な機能にもテイコクの技術が活きています。



化学製品の製造工程とターゲット市場





どんな液体に対応できるか(キャンドモーターポンプ) 🥨 株会社 帝国電機製作所



✓ 液体の名称	約500種	
✓ 濃度		
✓ 温度	約100種	
✓ 圧力		
合計	約50,000種	

【代表的な対応液体例】

✓ アセトン	✓ 超純水	✓ 二酸化炭素
✓ アンモニア	✓ 水銀	✓ 青酸カリ
✓ 液化ホスゲン	✓ ガソリン	✓ 硝酸
✓ 苛性ソーダ	✓ ホルマリン	✓ ホルムアルデヒド
✓ 酢酸	√ LPG	✓ アセトアルデヒド
✓ 濃硫酸	✓ ナフタリン	✓ シアン化ナトリウム
		✓ クロロホルム

2016年3月期第2四半期 連結貸借対照表の概要



単位 百万円	2016年3月期 第2四半期(実績)	前期末増減		2016年3月期 第2四半期(実績)	前期末増減
流動資産	21,887	▲334	流動負債	5,552	▲ 756
現預金	10,061	871	支払手形・買掛金	2,387	154
受取手形•売掛金	6,920	▲ 17	短期借入金	573	▲ 53
製品	1,036	▲ 46	その他	2,592	▲857
仕掛品	2,259	361	固定負債	1,651	▲ 13
原材料及び貯蔵品	1,109	109	退職給付に係る負債	948	15
その他	500	▲ 1,613	その他	703	▲28
固定資産	8,958	▲ 11			
有形固定資産	6,596	170	純資産	23,642	423
無形固定資産	501	0	株主資本	22,210	529
投資その他の資産	1,860	▲ 181	その他の包括利益累計額	1,432	▲105
資産合計	30,846	▲346	負債純資産合計	30,846	▲346

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれないようにお願いいたします。



株式会社帝国電機製作所

IR窓口···【経営企画部企画課】

TEL 0791-75-4160 FAX 0791-75-0568

http://www.teikokudenki.co.jp/